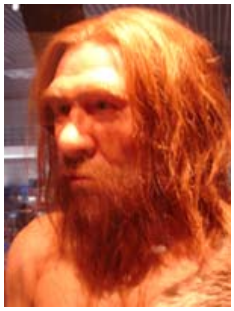
人類の進化　猿人から旧人まで



問題　展示番号３１～３３

古代人の復元

（１）ルーシー（猿人）、トゥルカナボーイ（原人）、ラ・フェラシー（旧人）を比較し、空欄に当てはまる内容を考え書き込んでください。

	ルーシー（猿人）	ﾄｩﾙｶﾅﾎﾞｰｲ（原人）	ﾗ･ﾌｪﾗｼｰ（旧人）
			
生存した時代	万年前	１６０万年前	万年前
生存した地域 （わかれば気候）		アフリカ （　　）	ヨーロッパ （　寒冷地域　）
身長･体型の比較		やせ型で背が高い 手足がやや長い	
脳の大きさ	４００　ml	ml	ml
復元された肌色	茶色		色白

特に、トゥルカナボーイとラ・フェラシーを骨格から生体を復元するにあたり、それぞれの生存した地域の気候も考慮し、体格や肌の色などが推測され復元されました。

（２）直立二足歩行と骨格の特徴について説明した以下の文章の（　）内の適する語句を選択し、○をつけてください。

四足動物の寛骨は、（　縦　・　横　）長ですが、猿人をはじめ直立二足歩行した人類の寛骨は、（　縦　・　横　）に短く幅広です。
また、直立二足歩行した人類は骨盤全体がすり鉢状で、直立したとき、
（　首　・　内臓　・　足　）が下にずれてしまわないように支えています。

（３）展示には直立二足歩行を始めた理由としていくつかの候補が書かれています。その中から、あなたが最も重要だと思う理由を選び、なぜそれを選んだのか、あなたの考えを書いてください。

（４）ドマニシ遺跡の発掘によって、どんな新事実が明らかになりましたか、また遺跡から見つかった動物はなんですか。書いてください。

（５）化石として残るのは、歯や骨など硬い組織がほとんどです。ここでは、サンギラン１７の頭部の骨から生体を復元する過程を見てみます。右側の写真が正しい順番になるように左側の枠と線で結んでください。



化石頭骨の
状況を確認する



表情筋をつける



咀嚼筋をつける





模型を作り
ゆがみを直し
足りない部分を補う



皮膚をつけて
生体に復元